

令和6年度 学校関係者評価報告書

1 学校の教育目標

自動車・機械・建築及び情報処理・生命工学を中心とする工業分野で役立つ人材を育成し、我が国の産業の発展に寄与する。

2 学校の教育目標や計画に対する評価・意見

(1) 教育理念について

各職員が教育理念である「個性の伸展による人生錬磨」についてよく理解されており、世の中に通用する若者の育成を追求されています。特に、実社会で活躍できる技術者の育成に力を入れていることが良く理解できます。今後は学生一人ひとりが持つ「個性」にさらに注目し、それを伸ばす指導の工夫が期待されます。

(2) 資格の取得について

資格取得は専門学校における重要な要素ですが、各学科において中心となるべき資格が明確でない場合が見受けられます。また、資格取得への意欲があまり見られない学科もあるように感じられます。今後は、学生の立場に立ち、授業内容と社会のニーズを結びつけた資格取得支援態勢の整備が求められます。国家試験レベルの挑戦機会を与えることも、学生のモチベーション向上に効果的であると考えます。

(3) 実社会に適応し得る技術の修得について

実務経験豊富な先生方によって、実社会で適応し得る技術の修得のための教育が継続されており、実社会で必要とされる技術の教育が実践されています。現場で今必要な知識を学生達に提供されており、体験談や経験を交えた教育は、学生達にとって非常に有益です。また、校外研修を通じて、実社会を肌で感じることで、学びの意味や職業とのつながりを理解する機会が設けられている点も評価できます。

(4) 組織人として必要な企業活動への積極的な姿勢の修得

ビジネスマナーやインターンシップ、企業研修等を通じて、社会人としての基礎を学んでいます。また、名古屋市から社会保険労務士をお招きし、労働法令全般に関する講座を実施し、社会人として必要な知識を得る機会も設けられていました。ただし、高校卒業後すぐ入学した学生は、社会人としての意識がまだ希薄な傾向があるため、学校として働く意義を伝える機会の充実が望まれます。

(5) 国際感覚を持った社会人の育成

勉学意欲旺盛な留学生の入学により、国際的な感覚を持った社会人の育成に努力されている。日本人学生と留学生の交流を通じて、異文化や多様な価値観を学ぶ機会が生まれており、国際感覚の醸成に貢献されています。

(6) 豊かな人生を送るための素養の涵養

知識・技術の習得に加えて、人間関係の構築や心の成長等、精神的な面も重視した教育により、豊かな人生を送るための素養の育成に努めている点は評価できます。

3 評価項目の達成及び取組状況

< 評価点 : 4 適切、 3 ほぼ適切、 2 やや不適切、 1 不適切 >

(1) 教育理念・目標	: 3.8
(2) 学校運営	: 3.4
(3) 教育活動	: 3.5
(4) 学修成果	: 3.6
(5) 学生支援	: 3.3
(6) 教育環境	: 3.7
(7) 学生の受入れ募集	: 3.8
(8) 財務	: 3.9
(9) 法令等の遵守	: 4.0
(10) 社会貢献・地域貢献	: 2.8
(11) 国際交流	: 3.8

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1) 良好な点

- ア 事業計画を策定し、計画に基づき運営が行われています。教育活動等に関する情報公開についても適切に実施されています。
- イ 教務・学生・就職・広報の各部門間の連携が取れています。また、担任と学生間の関係性も良好で、「面倒見の良い学校」と評価できます。
- ウ 年度初めに講師会議を実施し、教育方針の共有がなされています。
- エ 学内での企業説明会を積極的に行っておられ、学生に多くの情報を提供できています。また、多数の企業からの求人があり、学生達の選択肢が広がっています。
- オ 適切な冷房等の利用等により、節電や経費削減に積極的に取り組んでいます。
- カ 留学生の在籍管理や学修・生活指導について専任の担当者を配置しサポートが充実していると感じました。
- キ 企業との連携を密にできたことで、就職内定率 100%を達成できている。
- ク 退学率が大幅に改善されており、学生との良好な関係性が確保されています。

(2) 改善すべき点（要望・意見含む）

- ア 一部の教員の授業において迫力が不足しているとの意見が見られました。
- イ 留学生の日本語能力に課題があり、今後の指導体制の見直しが求められます。
- ウ 地域社会への貢献活動が不足しているため、積極的に地域参加が望まれます。
- エ 校舎の老朽化にともない、塗装等のメンテナンスが必要と思われます。

5. 今後の対応に向けて（提言）

- (1) 各学科において、中心となる資格や技術の明確化を図る。
- (2) 学生一人ひとりの個性を伸ばす教育体制を再確認・再構築する。
- (3) 地域社会との交流・貢献活動を活性化させる機会を創出する。